

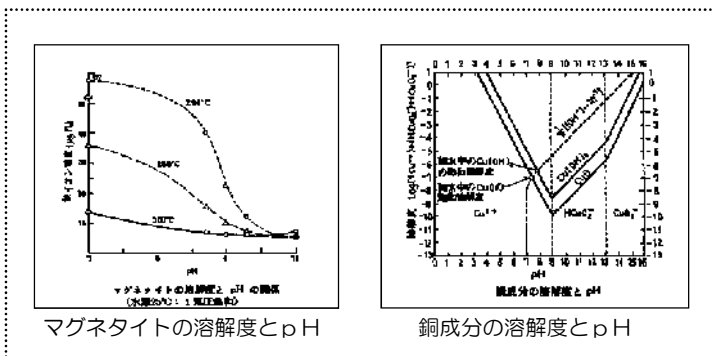
ボイラ水質管理基礎研修

【受講レベルの目安】

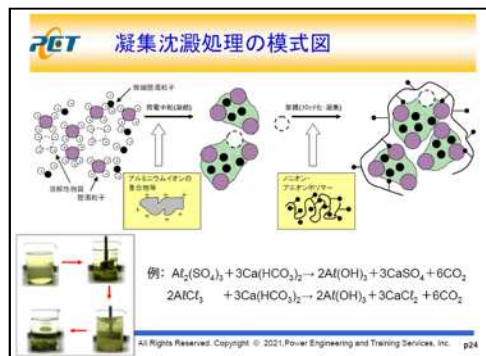
- ・ボイラの運転または保守の経験者（1年以上）
- ・水質管理を基礎から学びたい方

ボイラ給水の水質管理がなぜ必要か、どのような管理をすればよいかわかります。

- ・ボイラ給水の管理はボイラのトラブルを防ぐ上で不可欠です。
- ・管理基準や、水質処理技術、サンプリングの箇所、タイミング等を学びます。
- ・分析実習等を通じて、ボイラ水質分析の手分析方法等を理解できます。



理論に基づく各種現象の理解



給水処理方法の理解



水質分析実習



トラブル原因・対策の理解

カリキュラム

| 日程 | カリキュラム | 内容 |
|-----|-------------|---|
| 1日目 | 水質管理の概要 | 水質管理の目的、一次・二次給水処理の方法、水質管理基準値および分析項目・頻度、海水冷却システムの水処理について学習 |
| | 水質分析【実習】 | 水質分析方法について、模擬実習をとおして学習 |
| 2日目 | 水質基準値 | 水質管理の基準値の考え方と基準例の学習 |
| | 給水処理設備 | カットモデル映像などを用い、給水処理に関する設備の構造を学習 |
| | 水に起因する障害と対策 | 主な障害であるスケール、腐食、キャリアーバ、ぜい化等について原因と対策を学習 |

研修教材

| 教材名 | 仕様 |
|-------|--------------------------|
| 手分析器具 | ガラス器具、ジャーテスター(MJS-4P) |
| 設備映像 | 各設備カットモデル(75,000kW級発電設備) |